

「インタラクティブ自動色塗り地図」

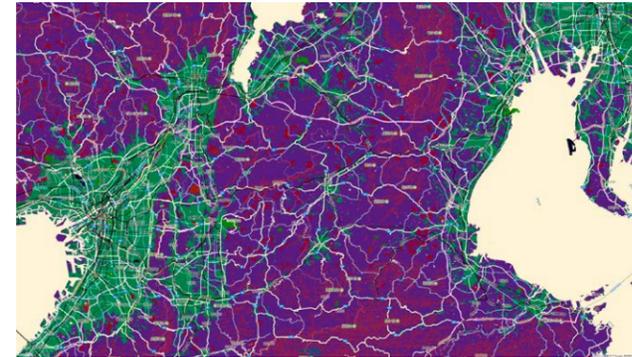
インタラクティブメディア学科 久原泰雄 Yasuo Kuhara



本作品は、人工知能的な手法によって配色が自動的に変化するインタラクティブな地図である。地図にはロマンがある。未知の場所であっても、地図を見ると、どんな土地で、どんな人が、どんな生活しているのか、あたかも旅行しているかのごとく想像力が刺激される。また、地図は情報デザインである。地図を構成するパーツは地理情報を表している。山地、森林、盆地、平野、河川、湖沼といった自然の地形の上に、農地、緑地、道路、鉄道、工場、官公庁、学校、商店、オフィス街、住宅地といった人間の活動が、時には必然的に、時には偶然にマッピングされている。それらの構成要素は、地図上で伝統的に特定の色で塗られている。山は茶、野は緑、海は青といった具合である。本作品は、その固定概念を覆すがごとく地図に新たな装いを施し、見る人に新鮮な驚きを与える。地図の配色が刻々と変化しつつ、世界各地の様々な場所へと移動する。地図のビジュアルは Google Maps API を使用したプログラミングによって自由自在に操ることができる。



2001年より東京工芸大学芸術学部にて教育研究に従事。専門はコンピュータミュージック。代表的な作品として、生物の群れの動きを表現したジェネラティブアート創発的インタラクション、障子から音と映像を生成する Spandex Shoji Synthesizer, つぶやきをレーザーハーブで演奏する Tweet Harp, ライフゲームから音楽生成する Life Game Orchestra, 子守唄を生成する作曲システム, 様々な人の歌声から輪唱を生成する Circle Canon Chorus, ピアニストのキータッチの情報を利用して演奏する VT Piano など。



近畿地方



京都



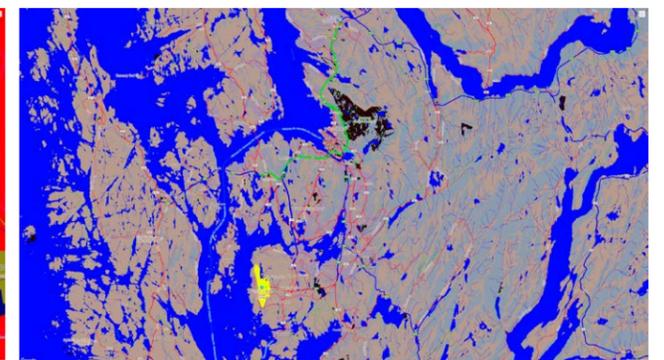
ニューヨーク



パリ



ベネチア



ベルゲン